

# 1, 2号機 建屋内滞留水水位計の設置について

H25年5月30日

東京電力株式会社



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

1

## <建屋水位計を設置する目的>

### 【現状】

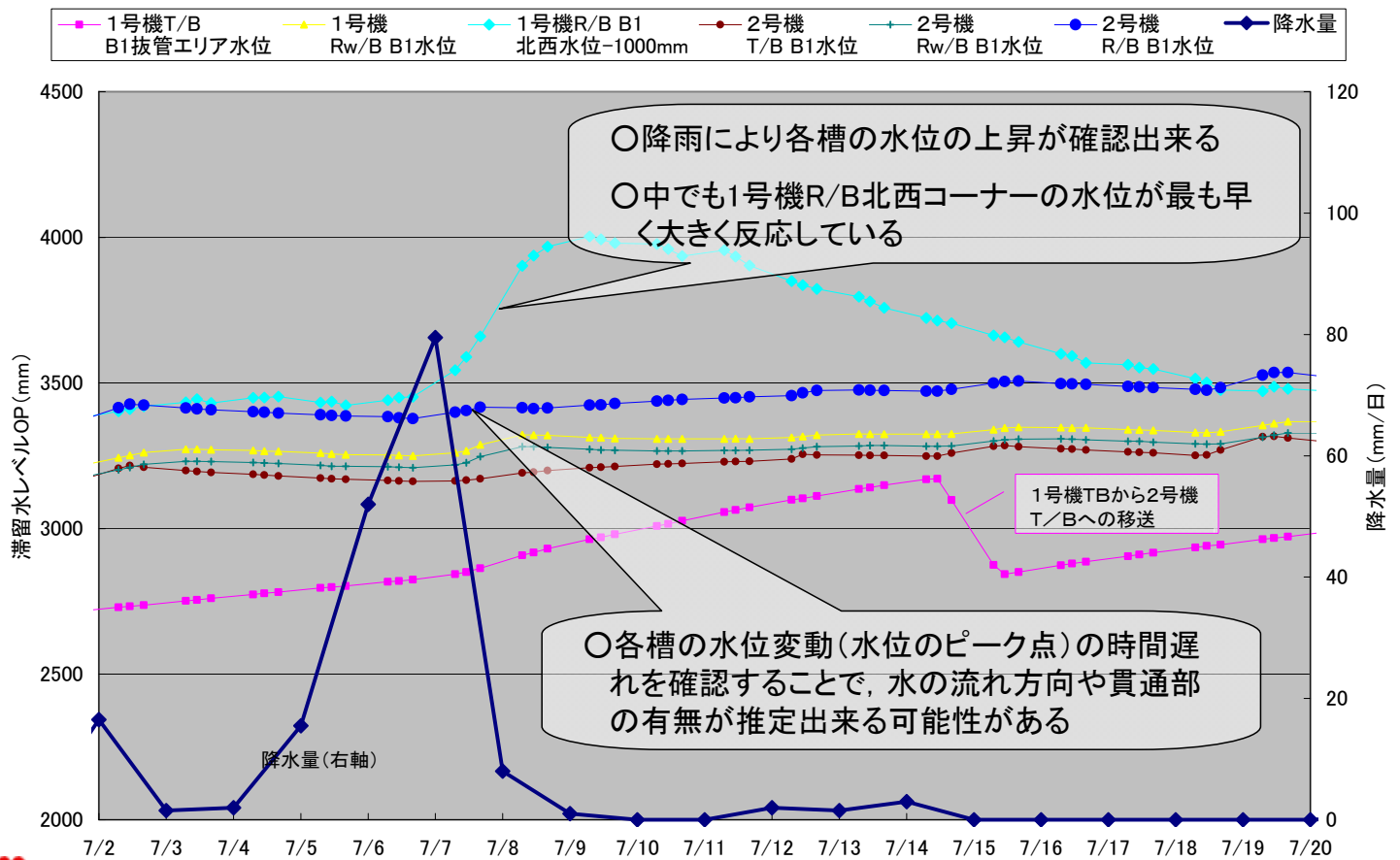
- ・建屋内に約400t／日の地下水流入があると想定しているが、どの号機、どの建屋への流入が支配的であるのかを想定できていない

水位計を設置し連続で水位データを採取することにより

以下の分析・評価に活用できる

- ・地下水の流入が支配的な号機および建屋の絞り込み
- ・原子炉建屋の各三角コーナーおよびトラス室にて、どの箇所からの地下水流入が支配であるか
- ・建屋内滞留水の挙動(建屋間の流出箇所)の把握

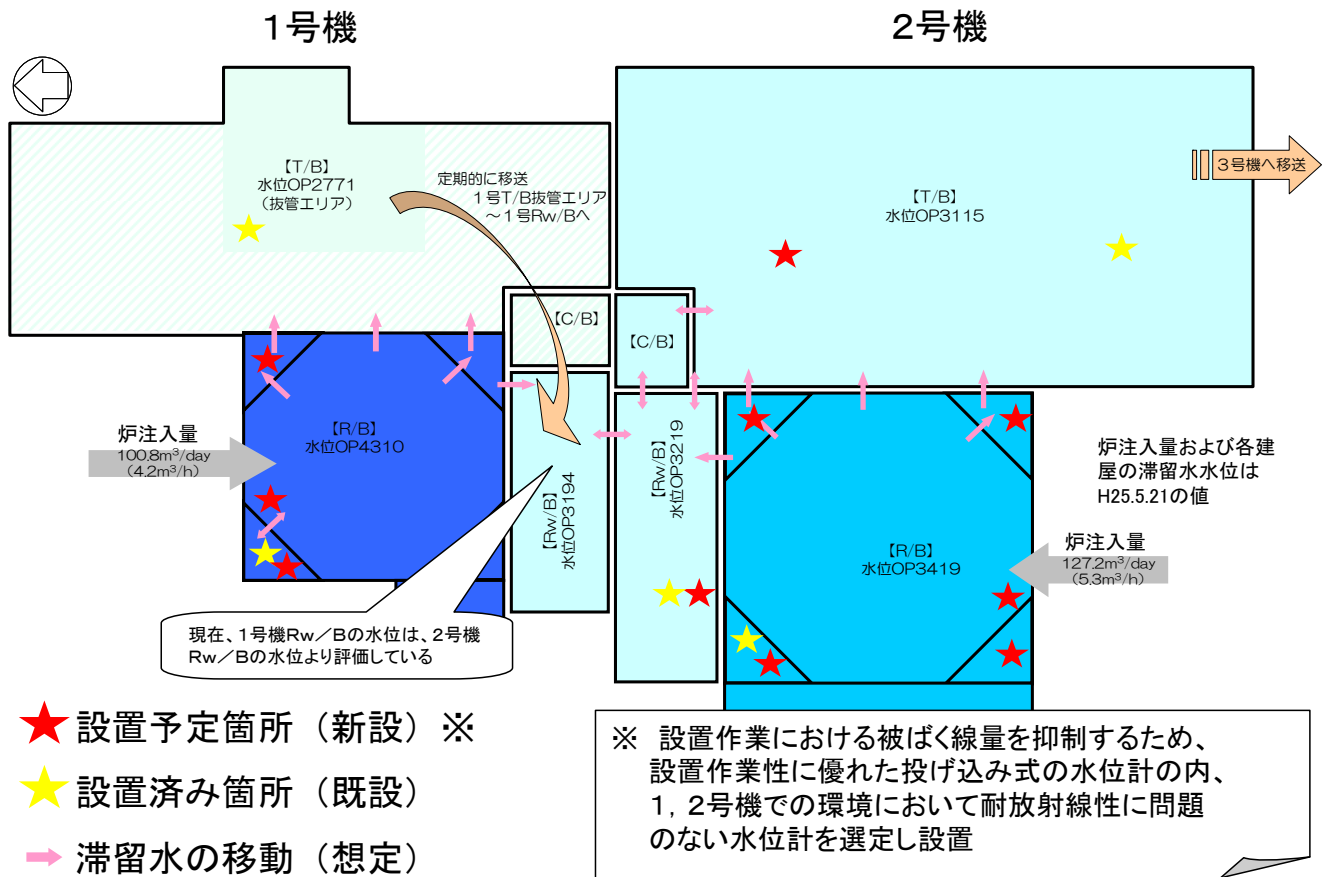
# <水位データ評価の例(水位の時間遅れの確認)>



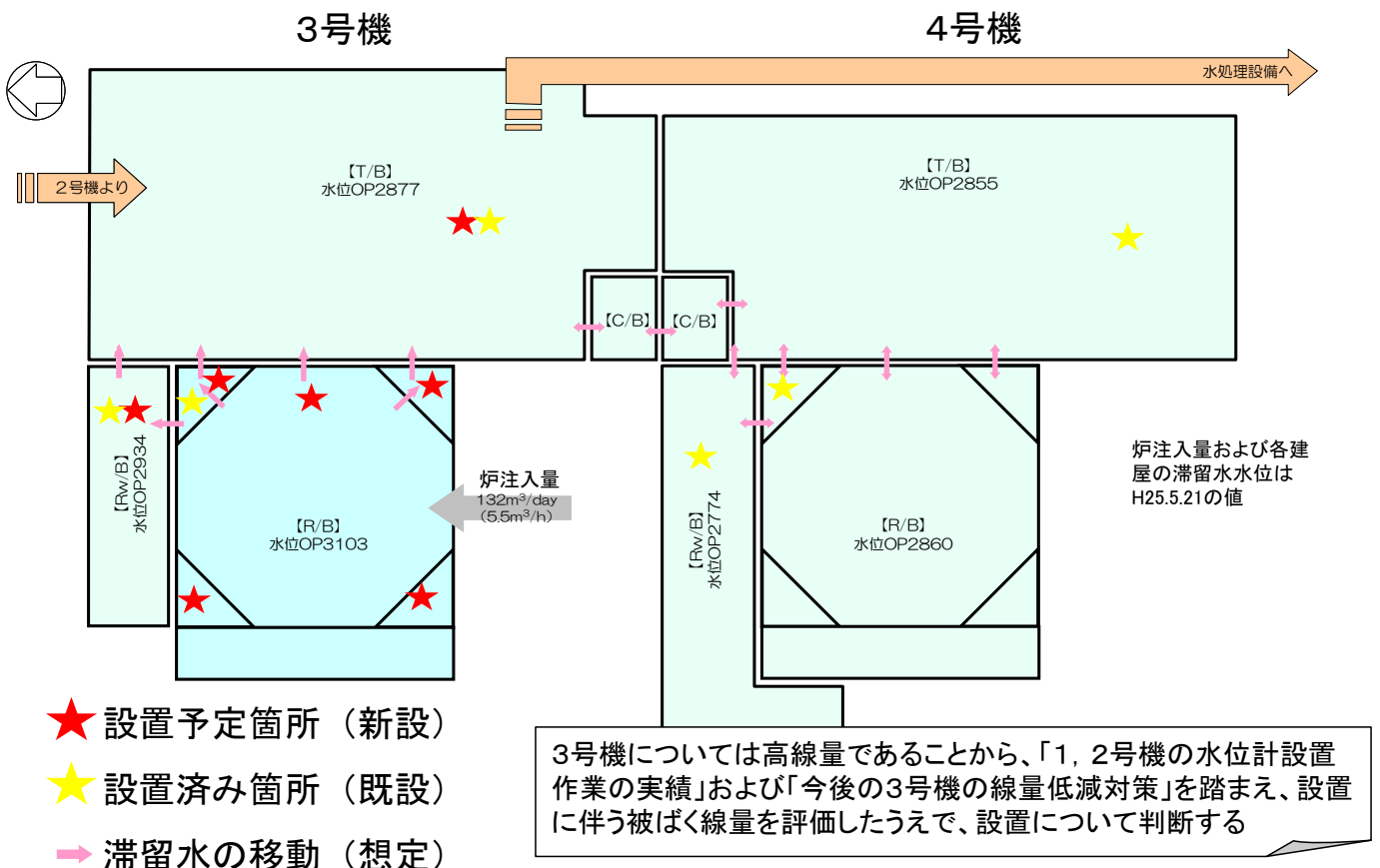
# <水位計設置箇所>

場所	1号機		2号機		3号機	
	追設	備考	追設	備考	追設	備考
R/B	トーラス室	○ PCVからの漏えいおよびT/Bへの漏水が予想される (R/B1階床穴明け箇所より投入)	○ PCVからの漏えいおよびT/Bへの漏水が予想される (R/B1階床穴明け箇所より投入)	○ PCVからの漏えいおよびT/Bへの漏水が予想される		
	北東三角コーナー	○ 9月の調査で北西三角コーナーとの水位差が確認されたため、設置が望ましい	○ 壁貫通部からT/B、Rw/Bへ漏水している可能性がある	○ 壁貫通部からT/B、Rw/Bへ漏水している可能性がある		
	北西三角コーナー	○ 9月の調査で北東三角コーナーとの水位差が確認されたため、設置が望ましい	○ 隣接するHPCI、RCIC室からの流入の可能性がある	○ 隣接するHPCI、RCIC室からの流入の可能性がある		
	南東三角コーナー	× Rw/Bへの流出があると推定しているが、現状アクセス困難なため設置不可	○ 壁貫通部からT/Bへ漏水している可能性がある	○ 壁貫通部からT/Bへ漏水している可能性がある		
	南西三角コーナー	× 現状アクセス困難なため設置不可	○ 隣接するHPCI、RCIC室からの流入の可能性がある	○ 隣接するHPCI、RCIC室からの流入の可能性がある		
T/B	× 現状水位からは、滞留水は抜管エリアのみと思われる(T/B側壁面は気中)	○ R/Bトーラス室、北東および南東三角コーナーからの滞留水の流入が考えられる	○ R/Bトーラス室、北東および南東三角コーナーからの滞留水の流入が考えられる			
Rw/B	× 2号機Rw/Bとの連絡扉が開いていることから、線量の低い2号機Rw/Bの水位を測定する	○ R/B北東三角コーナーおよび1号機Rw/Bからの滞留水の流入、T/Bへの流出が考えられる	○ R/B北東三角コーナーからの滞留水の流入、T/Bへの流出が考えられる			
設置箇所数	計3箇所		計7箇所		計7箇所 (設置時期等は今後検討)	

# <1, 2号機 設置予定箇所>



# <3号機 設置予定箇所>

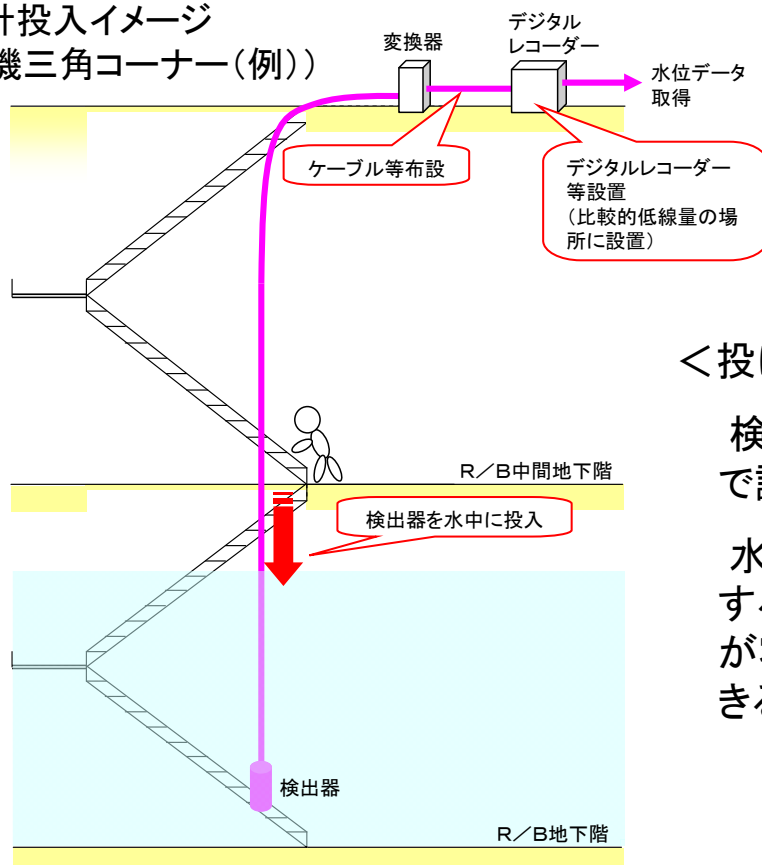


# <スケジュール(案)>

号機	項目	5月				6月			
1号機	水位計準備・搬入			水位計納入 ▼					
	ケーブル類設置 デジレコ等設置								
	水位計設置								データ採取・分析
2号機	水位計準備・搬入			水位計納入 ▼					
	ケーブル類布設 デジレコ等設置								
	水位計設置								データ採取・分析

# <参考 水位計設置イメージ>

水位計投入イメージ  
(2号機三角コーナー(例))



## <投げ込み式水位計について>

検出器部分を水中に投入することで設置が可能

水面付近での高線量作業を考慮すると、投げ込み式であれば設置が容易であり、被ばく線量を低減できる